

主催：北海道大学 低温科学研究所 & 北海道大学 総合博物館
協賛（公財）北海道環境財団、（公社）北海道国際交流・協力総合センター、
（財）北海道青少年科学文化財団

公開講演会

「北極海の歴史と今」

太田昌秀博士

（ノルウェー極地研究所 嘱託上級研究員）

日時：2012年6月11日（月）17:00-19:00

場所：北海道大学 学術交流会館 第一会議室

（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

太田昌秀先生は、ご専門の地質学の御研究を通じ、長年にわたって北極を愛し、北極に魅せられてきた世界を代表する研究者の一人です。80歳寸前の現在もノルウェー極地研究所の嘱託上級研究員として、日々、北極研究に携わっていらっしゃいます。今回は、「都ぞ弥生100年祭」にご出席するために来日される先生にお願いし、環境変動のホットスポットであり、同時に国際政治のホットスポットになりつつある北極海について、ご講演いただくことになりました。多数の皆様のお越しをお待ち申し上げます。

太田昌秀先生略歴

1933年長野県大町市生まれ。北海道大学大学院で飛騨山地の地質研究に従事、1962年に理学博士号を取得。1972年まで同大学助手。1964-66年にノルウェーからの奨学金でオスロ大学 Barth 教授のもとに2年間留学、スピッツベルゲンのカレドニア造山帯の岩石学的研究に携わる。1969-70年には北海道大学中央ネパールヒマラヤ学術調査隊の副隊長を勤め、Geology of the Nepal Himalayas を編著。その功績により1974年に北大地質関係者ととともに秩父宮記念学術賞を受賞。1972年から2006年まで34年間にわたってノルウェー国立極地研究所の研究員（教授）を勤め、その間ほぼ毎年北極域の地質研究に従事した。南極へも6回の調査を敢行。現在は同研究所の嘱託上級研究員としてオスロ大学の地質博物館に研究室をもつ。2009年には日本地質学会国際賞を日本人として初めて受賞。

本件に関する連絡先：

〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西8丁目 北海道大学 低温科学研究所

担当 白岩孝行 電話 011-706-7664 shiraiwa@lowtem.hokudai.ac.jp